



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社 精工技研

上場取引所 東

コード番号 6834 URL <https://www.seikoh-giken.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）上野 淳

問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理部長 （氏名）斎藤 祐司 TEL 047-388-6401

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	5,536	34.5	1,176	191.9	1,190	149.7	946	206.3
2025年3月期第1四半期	4,116	14.9	403	—	476	326.5	308	872.6

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 656百万円（11.0％） 2025年3月期第1四半期 591百万円（243.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	106.21	—
2025年3月期第1四半期	33.86	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	34,191	28,463	82.9
2025年3月期	34,383	28,144	81.4

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 28,329百万円 2025年3月期 27,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		35.00	—	40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	11,200	23.6	1,600	55.3	1,650	57.7	1,270	140.02
通期	22,000	10.1	3,000	6.5	3,100	4.0	2,300	253.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	9,333,654株	2025年3月期	9,333,654株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	425,797株	2025年3月期	425,797株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	8,907,857株	2025年3月期1Q	9,123,127株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策の変化により先行きの不透明感が強まることとなりました。米国では、インフレが緩和に向かう中、関税引き上げによる輸入コストの増加懸念と高金利が企業の投資マインドを圧迫し、経済成長が鈍化することとなりました。欧州では、ウクライナ戦争の長期化や米国の関税政策の影響等により、ドイツやフランスを中心に製造業の業績が停滞しています。中国では不動産不況が長引き、民間投資が低調に推移していますが、政府による公共投資や金融緩和策が下支えとなり、経済環境はやや持ち直しています。日本では、外需の減速と不安定な貿易環境により製造業は厳しい環境下にあるものの、内需主体の非製造業は好調に推移しました。雇用や所得環境は改善していますが、長引く物価高騰により、実質的には家計に余裕は生まれにくい状況となっています。

当社グループが関わる情報通信・エレクトロニクス関連市場では、AI需要の高まりを背景に世界各地でハイパースケールデータセンターの建設が進められました。一方、データセンターでは莫大な電力を使用することから、低消費電力化を実現する光電融合技術や、高温になるAIサーバーを効率的に冷却する技術の開発が進みました。自動車関連市場では、電気自動車を中心とする新エネルギー車へのシフトが進む中、米国における輸入関税の強化や中国、欧州における消費の冷え込み等により、グローバルでの自動車生産台数は縮小基調で推移しました。

こうした中で当社グループは、進行中の中期経営計画『マスタープラン2022』に基づき、「顧客接点の活性化」、「新製品・新技術開発の加速」、「ものづくり力の強化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に努めました。

「顧客接点の活性化」に向けては、精機事業、光製品事業の両セグメントにおいて展示会への出展やホームページの活用等を通じて新しい顧客と出会う機会を数多く作り、商談数を増やすことに注力しました。

「新製品・新技術開発の加速」に向けては、より幅広い領域で社会の進歩発展に貢献できる企業グループとなるべく、引き続き技術力の研鑽に取り組みました。

「ものづくり力の強化」に向けては、人員体制のシフトや仕入先、外注先との関係強化を図り、受注から納品までのリードタイムの短縮に努めました。

「経営基盤の強化」に向けては、ウォーキングイベントの開催や独自のポイント制度の導入等により健康経営の推進に取り組んだほか、引き続き温室効果ガスの排出削減やペーパーレス化等、環境維持に向けた活動に取り組みました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、5,536,537千円（前年同四半期比34.5%増）となり、第1四半期の売上高として過去最高となりました。昨年10月に株式会社エムジーを連結子会社化したことや、比較的採算性の良い製品の売上高が増加したこと等に伴い、営業利益は1,176,455千円（前年同四半期比191.9%増）となりました。経常利益は、投資不動産賃貸料等の営業外収益や為替差損等の営業外費用を計上した結果1,190,883千円（前年同四半期比149.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は946,099千円（前年同四半期比206.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

精機関連では、自動車向けや電子機器向けの精密成形品や、成形品を効率的に量産するための高品質な金型、高い寸法精度が要求される金属部品等を顧客に提供しております。当第1四半期連結累計期間は、車載用センサー関連部品の売上は堅調に推移したものの、車載用部品を量産するための金型の売上が減少しました。一方、2024年10月に連結子会社化した株式会社エムジーは前連結会計年度の第4四半期より損益を算入しているため、当第1四半期連結累計期間は、その損益が純増となっております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の精機関連の売上高は2,374,450千円（前年同四半期比15.8%増）となり、第1四半期の売上高として過去最高となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は200,341千円（前年同四半期比151.0%増）となりました。

② 光製品関連

光製品関連では、光通信用部品や同部品の製造工程、検査工程で使用する機器・装置、光電界センサーや光伝送装置、超小型樹脂レンズ等を顧客に提供しております。当第1四半期連結累計期間は、生成AIの普及拡大を背景に世界中でデータセンターの建設が進み、光コネクタ等の光通信用部品の需要が増大しました。これにより、光通信用部品や、光コネクタ研磨機・測定装置の売上高が大きく増加することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は3,162,087千円（前年同四半期比53.1%増）となりました。光コネクタ研磨機・測定装置の売上高の増加に伴い、営業利益は976,114千円（前年同四半期比202.0%増）となり、売上高・営業利益ともに第1四半期として過去最高となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は34,191,228千円となり、前連結会計年度末から191,941千円減少いたしました。流動資産は24,047,866千円となり、前連結会計年度末から5,722千円増加いたしました。その主な要因は、仕掛品や原材料及び貯蔵品が増加したこと等に因ります。固定資産は10,143,361千円となり、前連結会計年度末から197,663千円減少いたしました。その主な要因は、機械装置及び運搬具等の減価償却が進んだこと等に因ります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,727,933千円となり、前連結会計年度末から510,993千円減少いたしました。その主な要因は、買掛金や未払法人税等が減少したこと等に因ります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は28,463,294千円となり、前連結会計年度末から319,052千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金が増加したこと等に因ります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、2025年5月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,072,417	14,052,596
受取手形及び売掛金	5,120,091	4,796,800
電子記録債権	729,424	694,576
商品及び製品	830,584	918,760
仕掛品	1,314,098	1,380,183
原材料及び貯蔵品	1,438,179	1,624,463
未収還付法人税等	7,179	7,056
その他	531,942	575,130
貸倒引当金	△1,772	△1,700
流動資産合計	24,042,144	24,047,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,959,948	8,939,157
減価償却累計額	△6,302,088	△6,298,731
建物及び構築物（純額）	2,657,859	2,640,426
機械装置及び運搬具	7,830,046	7,710,794
減価償却累計額	△6,361,405	△6,310,262
機械装置及び運搬具（純額）	1,468,641	1,400,531
土地	2,948,566	2,948,577
建設仮勘定	190,210	137,623
その他	4,805,571	4,724,587
減価償却累計額	△3,938,347	△3,896,314
その他（純額）	867,223	828,272
有形固定資産合計	8,132,501	7,955,431
無形固定資産		
のれん	484,626	472,200
その他	17,026	17,564
無形固定資産合計	501,652	489,764
投資その他の資産		
投資有価証券	503,746	492,692
投資不動産	864,469	858,976
その他	338,654	346,496
投資その他の資産合計	1,706,870	1,698,165
固定資産合計	10,341,025	10,143,361
資産合計	34,383,169	34,191,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,009,320	1,795,238
未払法人税等	570,753	329,580
賞与引当金	134,206	190,702
その他	2,072,250	1,967,766
流動負債合計	4,786,530	4,283,287
固定負債		
退職給付に係る負債	1,006,238	1,003,833
役員株式給付引当金	160,336	222,287
長期末払金	44,330	-
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	78,477	70,816
その他	143,977	128,672
固定負債合計	1,452,397	1,444,646
負債合計	6,238,927	5,727,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,607,629	10,607,629
利益剰余金	10,221,979	10,853,436
自己株式	△1,796,855	△1,796,855
株主資本合計	25,824,436	26,455,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,636	27,904
為替換算調整勘定	1,961,797	1,676,273
退職給付に係る調整累計額	178,746	169,781
その他の包括利益累計額合計	2,169,180	1,873,959
非支配株主持分	150,624	133,441
純資産合計	28,144,241	28,463,294
負債純資産合計	34,383,169	34,191,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,116,063	5,536,537
売上原価	2,688,855	3,071,318
売上総利益	1,427,208	2,465,218
販売費及び一般管理費	1,024,168	1,288,762
営業利益	403,039	1,176,455
営業外収益		
受取利息	7,996	11,419
受取配当金	582	1,166
補助金収入	213	1,054
投資不動産賃貸料	17,223	17,953
持分法による投資利益	—	1,025
為替差益	47,500	—
その他	5,002	8,505
営業外収益合計	78,519	41,125
営業外費用		
不動産賃貸原価	4,060	5,291
持分法による投資損失	182	—
為替差損	—	20,418
その他	429	988
営業外費用合計	4,672	26,697
経常利益	476,887	1,190,883
特別利益		
固定資産売却益	1,002	9,986
特別利益合計	1,002	9,986
特別損失		
固定資産売却損	—	95
特別損失合計	—	95
税金等調整前四半期純利益	477,890	1,200,775
法人税、住民税及び事業税	141,160	266,494
法人税等調整額	24,855	△17,207
法人税等合計	166,015	249,286
四半期純利益	311,875	951,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,996	5,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,878	946,099

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	311,875	951,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,680	△731
為替換算調整勘定	270,503	△285,524
退職給付に係る調整額	3,088	△8,964
その他の包括利益合計	279,271	△295,221
四半期包括利益	591,147	656,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,031	656,976
非支配株主に係る四半期包括利益	4,115	△708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,050,028	2,066,034	4,116,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,145	207	6,353
計	2,056,174	2,066,242	4,122,417
セグメント利益	79,831	323,208	403,039

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,374,450	3,162,087	5,536,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,603	—	15,603
計	2,390,053	3,162,087	5,552,140
セグメント利益	200,341	976,114	1,176,455

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	196,866千円	190,519千円
のれんの償却額	17,523 〃	12,426 〃